

📄 わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。

家族の集合場所

集合場所	避難所・避難場所	連絡方法

家族の連絡先及び救急情報

氏名	続柄	電話番号(自宅携帯)	電話番号(会社・学校)	生年月日	血液型	救急情報(持病・アレルギー・常備薬)
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	

親族・知人

氏名	間柄	電話番号

かかりつけ医療機関

医療機関名	電話番号

緊急ダイヤル

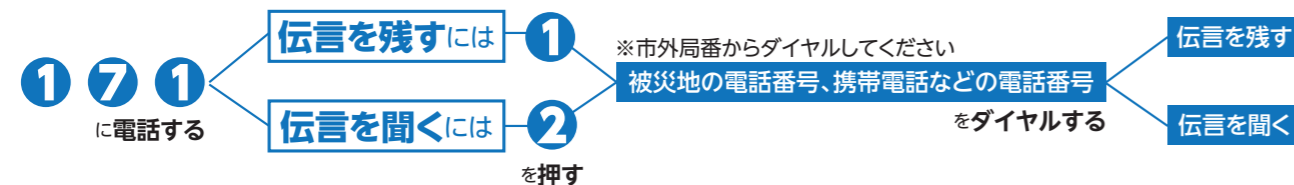
消防へ火事・救急・救助の連絡 **119**

警察へ事件・事故の連絡 **110**

海上の事件・事故の連絡 **118**

災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話がつながりにくくなります
「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます



発行 三春町

問い合わせ:総務課自治防災グループ TEL 0247-62-1114

製作・著作:株式会社ゼンリン郡山営業所
作成:令和5年3月

【この地図の作成に当たっては、三春町長の承認を得て、同町発行の三春町地形図を使用し、調製したものである。(承認番号)4三総務号外】
【この地図は、福島県中建設事務所長の承認を得て、三春町都市計画図を使用した。(令和4年3月3日付け3中建第6735号承認)】



三春町

防災 ハザード マップ

保存版

👤 はじめに	1	🔥 火災対策について	12
⚠️ 警戒レベルを用いた避難情報	2	📄 防災情報の伝達と入手	13
📄 防災気象情報	3・4	🏠 避難施設一覧	14・15
🏠 わが家の防災対策	5・6	☎️ 防災関係機関一覧	16
🧳 非常用持ち出し袋および備蓄品	7	👤 マイ避難シート	17
🚶 避難行動ガイド	8	🗺️ 三春町全図	18
🏠 洪水・浸水害について	9	🗺️ 詳細図①～⑫	19～42
🏠 土砂災害について	10	📄 わが家の「緊急・救急情報」防災メモ 巻末	
🏠 地震対策について	11		

令和5年3月改訂

はじめに

町民の皆様へ

「自分の命は自分で守る」を合言葉に

町民の皆様には、日頃より防災行政に対するご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。
平成23年3月の東日本大震災、最近では令和元年10月の東日本台風により甚大な被害を受けました。更には、全国各地を見ても、自分たちの力ではどうにもならない自然災害が多数発生しています。

防災の基本的な考え方は、まずは「自分の身は自分で守る」です。一人ひとりが防災意識を高め、三春町では、これまでに経験した災害だけではなく、想定をはるかに超える災害に備えるため防災ハザードマップをリニューアルしました。町民の皆様には、改めて防災への関心と意識を高め、災害への備えをしていただきたいと思います。

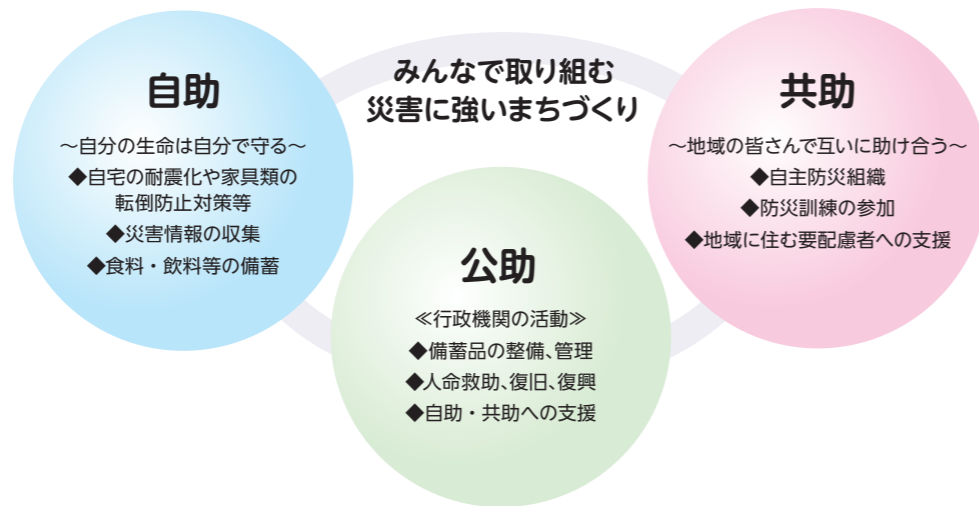
また、防災・減災を考えると「自助」「共助」「公助」の3つが重要であり、これらを連携することが不可欠となっています。

「公助」はもとより、この「自分の身は自分で守る(自助)」「自分たちの地域は自分たちで守る(共助)」の意識を高めていただき、日頃から災害に備えて頂くことが被害を軽減するために重要であることをご理解いただくとともに、日ごろからの防災対策として防災ハザードマップを目の届くところに常備し、ご家族や各地域において役立てて頂きますようお願い申し上げます。

令和5年3月 三春町長 坂本 浩之

地域の防災力を高める 自助・共助・公助

地震や洪水、台風等の自然災害による被害を最小限に抑えるためには、自分の命は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」、行政の救助・支援「公助」の取り組みが必要です。大規模災害時では、公助の機能に限界がありますので、「自助・共助・公助」が連携することにより、住民と行政が一体となって地域防災力を高めることが重要となります。いざという時に備え、適切な行動ができるよう日常的に防災を意識しましょう。



家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに慌てず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

- 家の中で一番安全な場所
- 家族一人ひとりの役割分担
・安否確認、非常持出品・備蓄品のチェック、避難経路の確保、隣近所への連絡など
- 避難場所、避難経路
・自宅と避難場所を確認し、マップに描き入れましょう
・避難経路を実際に歩いて確認しましょう
- 自宅付近の災害リスク、危険個所の確認
- 災害が起こった時の身の守り方
- 家族が離ればなれだったときの連絡手段、集合場所
- 要配慮者(乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦など)のサポートと避難方法



警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベルについて 警戒レベルは、水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたもので、市区町村が避難情報と合わせて出す情報です。

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報) 浸水の情報(河川) 土砂災害の情報(雨)	
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。 ・警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません! ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報 大雨特別警報(土砂災害)
~~~~~ < 警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~					
4	災害のおそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。	避難指示	4相当	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	<b>危険な場所から高齢者等は避難</b> ・「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。 ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報 大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2相当	氾濫注意情報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	

※市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されていなくても、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動をとってください。大切なことは「自分で判断する」ということです。

**警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。また、必ず発令されるものではありません。**

**警戒レベル3 高齢者等避難や警戒レベル4 避難指示で、地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。**



(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

# i 防災気象情報

## 特別警報

警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合、気象庁は「特別警報」を発表し最大級の警戒を呼びかけます。

### ◆気象等に関する特別警報の発表基準

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風	暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

※発表にあたっては、降水量、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などについて過去の災害事例に照らして算出した客観的な指標が設けられており、これらの実況および予想に基づいて気象庁が判断します。

### ◆地震(地震動)・火山・津波に関する特別警報の発表基準

現象の種類	基準
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報(震度6弱以上または長周期地震動階級4)を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)

※これらの特別警報は、名称に「特別警報」は用いず、従来どおりの名称で発表します。

### 特別警報が発表されたら

- ① 尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ② 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ③ ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

## 雨の強さと降り方

予報用語	1時間雨量(mm)	人の受けるイメージ	人への影響	屋内(木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
やや強い雨	10以上 20未満	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	雨の音で話し声が良く聞き取れない。	地面一面に水たまりができる。	—
強い雨	20以上 30未満	どしゃ降り。	傘をさしてもぬれる。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。	ワイパーを速くしても見づらい。	—
激しい雨	30以上 50未満	バケツをひっくり返したように降る。	傘は全く役に立たなくなる。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。	道路が川のようなになる。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象)
非常に激しい雨	50以上 80未満	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	車の運転は危険。
猛烈な雨	80以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	傘は全く役に立たなくなる。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	車の運転は危険。

## 風の強さと吹き方

予報用語	平均風速(m/s)	おおよその時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	おおよその瞬間風速(m/s)
やや強い風	10以上 15未満	~50km	一般道路の自動車	風に向かって歩けなくなる。傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	~70km	一般道路の自動車	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	30
非常に強い風	20以上 25未満	~90km	高速道路の自動車	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	40
猛烈な風	25以上 30未満	~110km	高速道路の自動車	何かにつかまっていなくて立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常で運転するのが困難になる。	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。	50
	30以上 35未満	~125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60
	35以上 40未満	~140km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	50
	40以上	140km~	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

## 台風の大きさと強さ

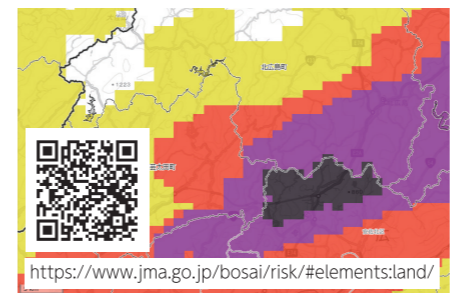
大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s(64ノット)以上44m/s(85ノット)未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s(85ノット)以上54m/s(105ノット)未満
		猛烈な	54m/s(105ノット)以上

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

## キキクル(危険度分布)

どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。

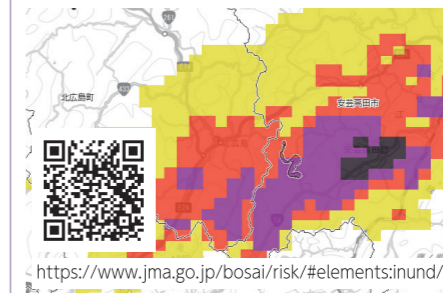
### 土砂キキクル 大雨警報(土砂災害)の危険度分布



紫：崖・溪流の近くは危険



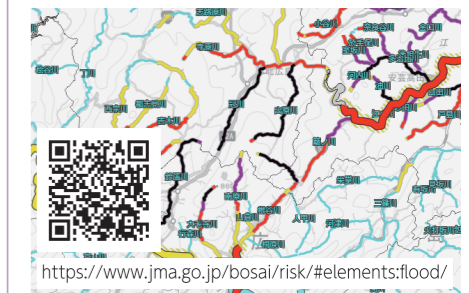
### 浸水キキクル 大雨警報(浸水害)の危険度分布



紫：低地は危険



### 洪水キキクル 洪水警報の危険度分布



紫：河川沿いは危険



※使用している携帯電話・アプリケーションによっては二次元バーコードの読み取りができない場合があります。

## 土砂災害警戒情報

大雨警報(土砂災害)の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報で、都道府県と気象庁が共同で発表しています。危険な場所からの避難が必要な警戒レベル4に相当します。

土砂災害警戒情報が発表された市町村内で危険度が高まっている詳細な領域は土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)で確認できます。土砂災害によって命が脅かされる危険性が認められる土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、遅くとも該当領域に「危険」(紫色)が出現した時点で速やかに避難を開始することが大変重要です。周囲の状況や雨の降り方にも留意し、危険を感じたら躊躇することなく自主避難を行いましょう。

## 記録的短時間大雨情報

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測(地上の雨量計による観測)したり、解析(気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析:解析雨量)したりしたときに発表します。この情報は、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために、雨量基準を満たし、かつ、大雨警報発表中に、キキクル(危険度分布)の「危険」(紫)が出現している場合に気象庁から発表されます。

この情報が発表されたときは、お住まいの地域で、土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような猛烈な雨が降っていることを意味しています。実際にどこで災害発生の危険度が高まっているかをキキクル(危険度分布)で確認してください。

## 顕著な大雨に関する気象情報

大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報です。警戒レベル4相当以上の状況で気象庁から発表されます。顕著な大雨に関する情報が発表されていなくとも、広範囲で激しい雨が長時間継続するような場合には、甚大な災害が発生する場合があります。顕著な大雨に関する情報を待つことなく、災害発生の危険度の高まりを示すキキクル(危険度分布)を活用いただくことが極めて重要です。

(ページ内の図表は内閣府・気象庁ホームページより抜粋、編集)

# わが家の防災対策

## 家の中の安全対策

●事前に準備出来ているか、チェックしましょう。

### ！ 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。



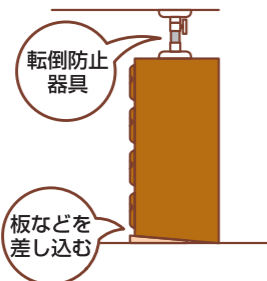
### ！ 寝室、子どもやお年寄りのいる部屋にはできるだけ家具を置かない

就寝中に地震に襲われると家具が倒れるおそれがあり危険。やむをえず置く場合は、なるべく背の低い家具にするとともに、寝ている場所に倒れないよう、また出入口をふさがないように、向きや配置を工夫する。



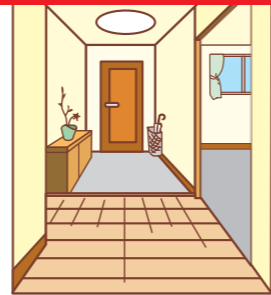
### ！ 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



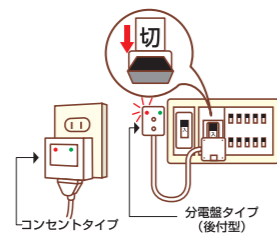
### ！ 安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



### ！ 電気火災発生の防止

地震による火災の原因の多くは電気に関連。電気ストーブや電気コンロの転倒や、停電復旧時の通電火災（破損した電気コードのショートによる出火など）がある。電気火災を防ぐためには、感震ブレーカーの設置が有効。



### ！ 手の届くところに防災品を備える

夜間就寝時、停電になると周囲の確認ができず危険。地震の場合はガラスが散乱したり、部屋に閉じ込められることもある。普段寝る場所から手の届くところに懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを。

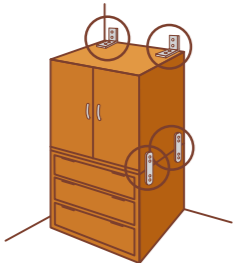


## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

●事前に準備出来ているか、チェックしましょう。

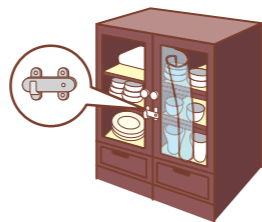
### ダンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



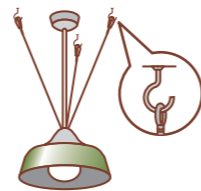
### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



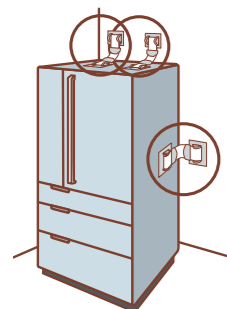
### 照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



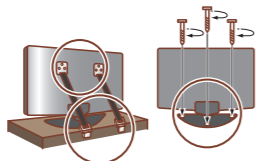
### 冷蔵庫

所定の取り付け場所（運搬用取っ手など）を転倒防止ベルトで壁や柱に固定する。



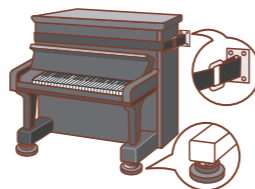
### テレビ

テレビ台とテレビを直接固定するのが有効。脚などに専用の取り付け箇所がある場合はボルト等で取り付け、そうでないものは転倒防止ベルトなどで固定する。



### ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取り付けた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



## 家の周囲の安全対策

●以下のポイントをチェックし、適切に補修を行ってください。

### 屋根

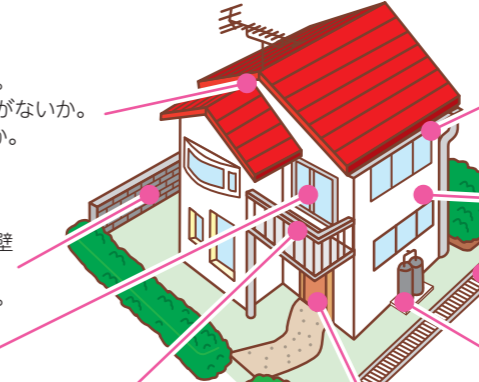
不安定な屋根のアンテナの補強。瓦のひび、割れ、ずれ、はがれがないか。トタンのめくれ、はがれはないか。

### ブロック塀・門柱

土中にしっかりした基礎、控え壁のないものは補強。ひび割れや鉄筋のサビはないか。

### 窓ガラス

強風による飛来物などに備え、外側から板でふさぐなどの処置を。飛散防止フィルムを貼る、ひび割れ、窓枠のガタツキはないか。



### ベランダ

鉢植えや物干し竿など飛散の可能性が高いものは室内へ。

### 非常口の確保

通路や出入口には、避難の際の妨げにならないよう、できるだけ自転車やベビーカーなどの物は置かない。

### 雨どい・雨戸

雨どいに落ち葉や砂が詰まっていないか。雨戸にガタツキやゆるみはないか。継ぎ目の外れや塗装のはがれ、腐りはないか。

### 外壁

板壁に腐りや浮きはないか。モルタルの壁に亀裂はないか。

### 側溝

側溝が詰まると、道路冠水や浸水の原因に。日頃からの清掃を。

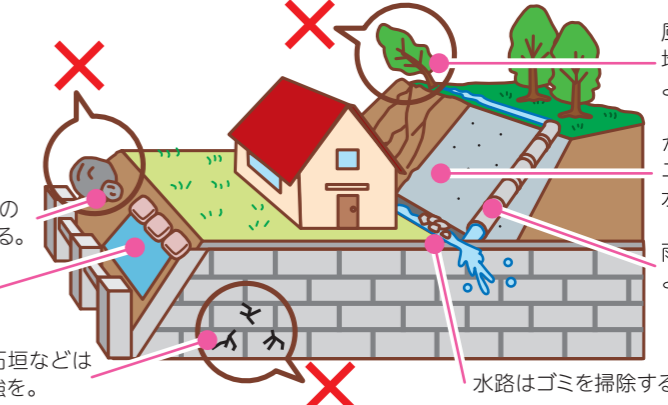
### 家の周りのもの

プロパンガスのボンベはしっかり固定されているか。植木鉢などは整理整頓を。風に飛ばされそうなものは事前に屋内へ。

## 土砂災害の予防策

●がけや斜面の近くでは特に次のようなことを心がけましょう。

斜面の状態の変化に十分注意しましょう。

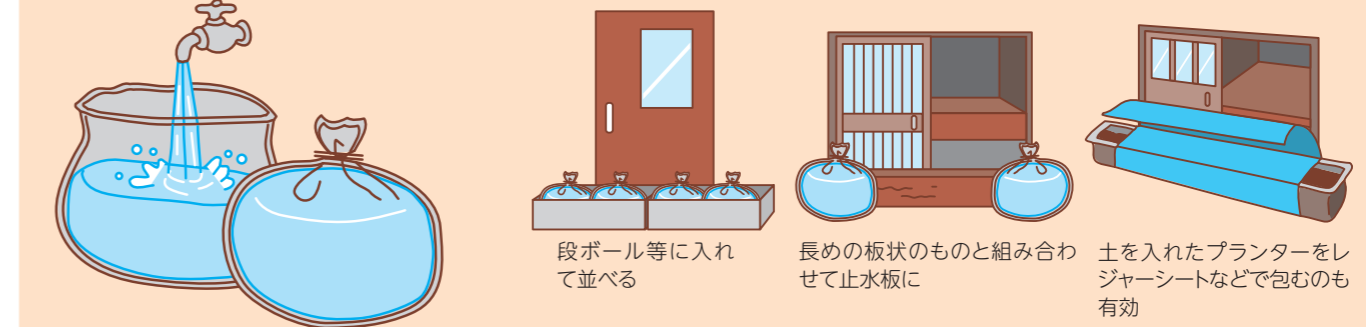
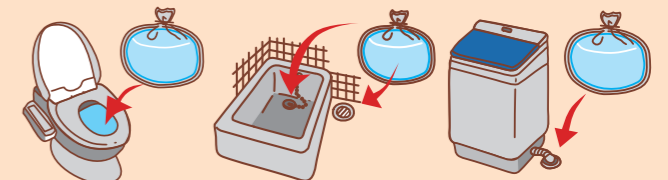


風でゆれる大きな木は地面をゆさぶられないよう枝を切る。  
がけの危険な部分はビニールなどで覆い、雨水の浸みこみを防ぐ。  
雨水をがけに流さないように水路を造る。  
水路はゴミを掃除する。  
崩れそうな所は木や板の柵、石積をする。  
こわれた石垣などは修理や補強を。  
落ちそうな岩や土のかたまりは撤去する。

## 住宅の浸水被害を防ぐには

浸水深が小さいときは、家庭にあるものを使って、水の侵入口となるところを塞ぐことで水の侵入を減少させることができます。トイレなどの逆流防止にも有効です。※実施の際には避難の妨げにならないように気を付けてください。

「水のう」の作り方  
40L程度のゴミ袋を二重にして半分程度の水を入れる  
空気を抜いて口をしぼる



# 非常用持ち出し袋および備蓄品

## 災害の「備え」チェックリスト ● に✓を入れて確認しましょう。

### 非常用持ち出し袋 避難の際に持ち出すもの!

- |                                                                               |                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 水                                                    | <input type="checkbox"/> 軍手                                            |
| <input type="checkbox"/> 食品<br>(ご飯(アルファ米など)、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意!) | <input type="checkbox"/> 洗面用具                                          |
| <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット・防災ずきん                                       | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉                                     |
| <input type="checkbox"/> 衣類・下着                                                | <input type="checkbox"/> タオル                                           |
| <input type="checkbox"/> レインウェア                                               | <input type="checkbox"/> ペン・ノート                                        |
| <input type="checkbox"/> 紐なしのズック靴                                             | <b>感染症対策にも有効です!!</b>                                                   |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯(※手動充電式が便利)                                      | <input type="checkbox"/> マスク                                           |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(※手動充電式が便利)                                     | <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール                                    |
| <input type="checkbox"/> 予備電池・携帯充電器                                           | <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ                                    |
| <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく                                             | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ                                     |
| <input type="checkbox"/> 救急用品<br>(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)                        | <b>一緒に持ち出そう!!</b>                                                      |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ                                              | <input type="checkbox"/> 体温計                                           |
| <input type="checkbox"/> ブランケット                                               | <input type="checkbox"/> 貴重品<br>(通帳、現金、パスポート、運転免許証、病院の診察券、マイナンバーカードなど) |

### 子供がいる家庭の備え

- |                                       |                                   |                                |
|---------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ミルク(キューブタイプ) | <input type="checkbox"/> 子供用紙オムツ  | <input type="checkbox"/> 抱っこひも |
| <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶      | <input type="checkbox"/> お尻ふき     | <input type="checkbox"/> 子供の靴  |
| <input type="checkbox"/> 離乳食          | <input type="checkbox"/> 携帯用お尻洗浄機 |                                |
| <input type="checkbox"/> 携帯カトラリー      | <input type="checkbox"/> ネックライト   |                                |

### 女性の備え

- |                                  |                                     |                                      |
|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 生理用品    | <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ  | <input type="checkbox"/> 防犯ブザー/ホイッスル |
| <input type="checkbox"/> おりものシート | <input type="checkbox"/> 中身の見えないゴミ袋 |                                      |

### 高齢者がいる家庭の備え

- |                                  |                                   |                                       |
|----------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ | <input type="checkbox"/> 入れ歯      | <input type="checkbox"/> デリケートゾーンの洗浄剤 |
| <input type="checkbox"/> 杖       | <input type="checkbox"/> 入れ歯用洗浄剤  | <input type="checkbox"/> 持病の薬         |
| <input type="checkbox"/> 補聴器     | <input type="checkbox"/> 男性用吸水パッド | <input type="checkbox"/> お薬手帳のコピー     |

### 備蓄品

お家に備えておくもの!

- 食料や水(最低3日分!出来れば1週間分)×家族分  
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという習慣にしていれば、常に食料の備蓄が可能!
- 生活用品  
例えば、ティッシュ、トイレトーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯用トイレ…など

ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう。

監修/内閣府政策統括官(防災担当)、内閣府男女共同参画局  
「災害の「備え」チェックリスト」(首相官邸ホームページ) (<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000064513.pdf>)を加工して作成

# 避難行動ガイド

**!** 警戒レベル3 高齢者等避難や警戒レベル4 避難指示が出たら、危険な場所から避難しましょう。

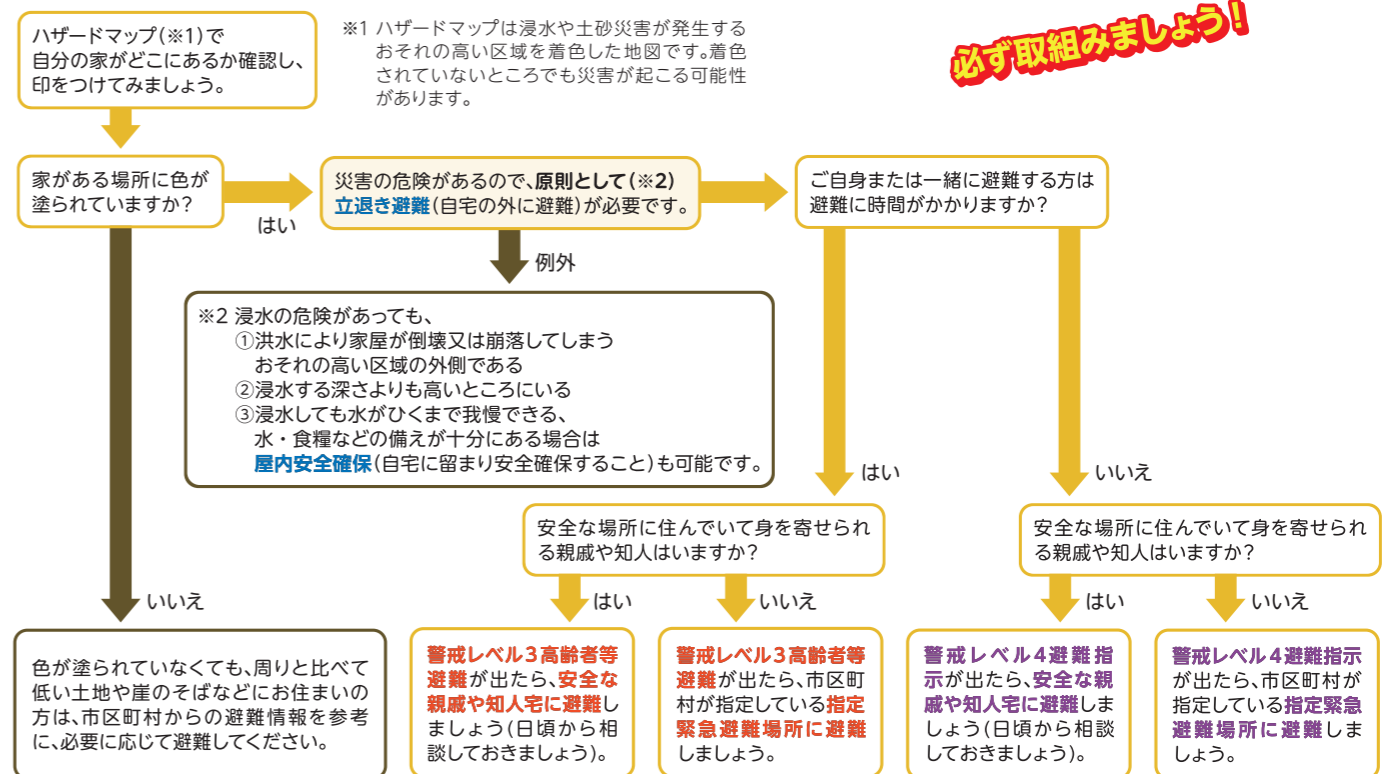
**!** 避難とは難を避けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

**!** 避難先は小中学校・公民館ではありません。  
安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

### ◆避難行動判定フロー

普段から確認 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと、とるべき行動を確認しましょう。

●あなたがとるべき避難行動は?



## 自宅の外へ避難する際の留意点

### ! 避難するときの服装

- ヘルメット、帽子等をかぶる。
- 非常持ち出し袋はリュックサックに入れて背負う。(両手が使えるように)
- 長袖・長ズボンを着用する。
- 軍手や手袋をはめる。
- 靴は底の厚い、履き慣れたものを着用する。
- やむをえず夜間に移動の際は懐中電灯を持つ。

### ! 避難時のポイント

- 自宅を離れる前にもう一度火元を確認する。
- ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。
- 持ち出す荷物は最小限にする。
- 近所の人に声をかけ、複数人で行動する。
- 避難先へは、徒歩で移動する。(自動車、自転車はできる限り使用しない)
- 狭い道やブロック塀、自動販売機のそば、川べり、ガラスや看板の多い場所を避ける。
- 子ども、障がい者、高齢者など避難行動要支援者がはぐれないよう配慮をしながら避難する。

上記は一般的な避難留意点です。各災害に応じた留意点も、個別ページでご確認ください。

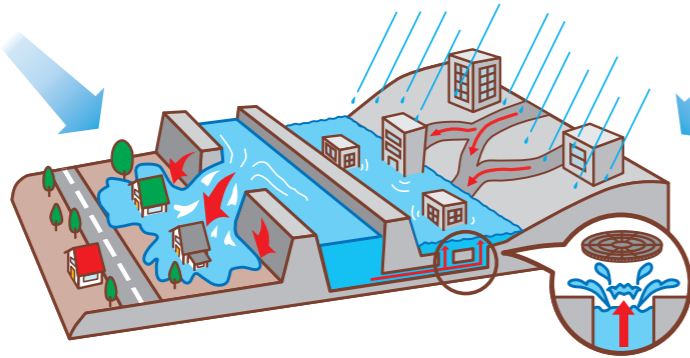
(ページ内の図表は内閣府ホームページより抜粋、編集)

# 洪水・浸水害について

## 氾濫の種類

雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

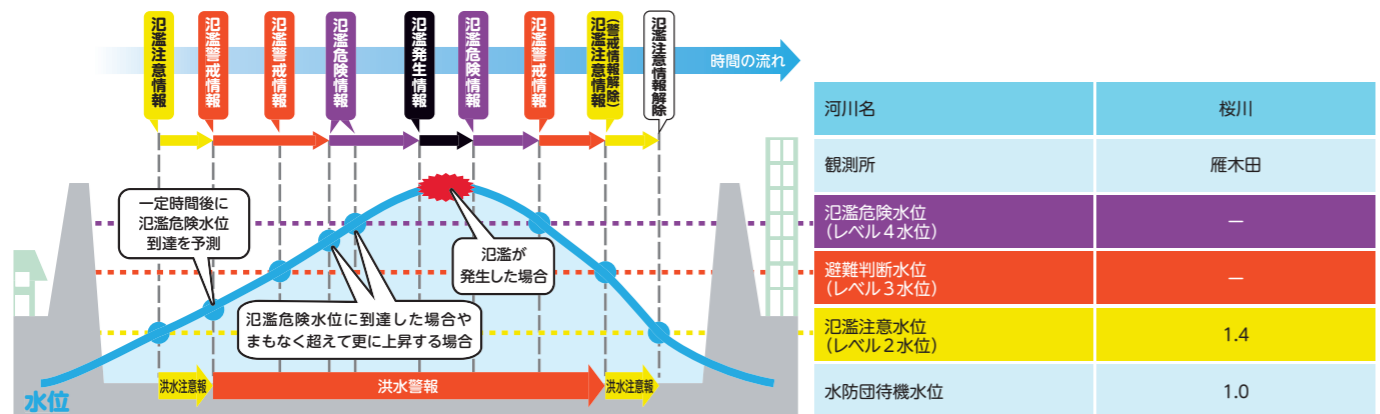
**外水氾濫**  
大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を超える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増すため、最大の注意が必要。



**内水氾濫**  
その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水は、けされず溜まって起きる洪水。的確なタイミングで警報や避難指示を出すのが難しいため、注意が必要。

## 河川の危険水位と洪水予報

河川ごとに設定された以下の危険水位に応じ、河川管理者と気象庁から洪水予報が発表されます。自治体はこの情報を目安にして、避難に関する情報を発令します。



## 避難行動のポイント、危険な場所

### ❗ 浸水が始まる前に早めの避難を

氾濫水は勢いが強く、大人の膝程度の深さでも歩行が困難となる。浸水してから自宅外への避難は危険。気象予報や河川洪水予報などの情報をもとに、身の危険を感じたら自主的に避難を開始する。



### ❗ 状況に応じた避難を

周囲の状況が危険で避難場所まで移動できない場合は、自宅や近隣の頑丈な建物のできるだけ高い階に避難する。移動途中であっても、危険を感じた場合は、近隣の建物のできるだけ高い階に避難する。



### ❗ やむなく浸水の中を歩く際は

裸足、長靴は厳禁。水中で脱げづらい紐靴などが適している。また、氾濫水は濁っているため、水面下が確認できない。長い棒などを杖替わりとし、側溝やマンホール、障害物に注意する。



### ❗ 川や用水路に近づかない

降雨が続く不安に思っても、川や用水路、田畑の用水は見に行かない。やむを得ない場合は複数人で行動する。河川の様子を確認は、自治体などのライブカメラ情報を活用する。また、避難の途中でも増水した川の近くを通るのは避ける。



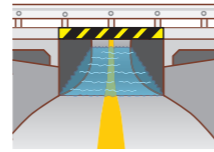
### ❗ 地下室、地下街は危険

地下にいる場合、地上の様子が把握しづらく、避難経路が限定される。また、地上が冠水すると、一気に水が流れ込んでくる場合もある。停電の可能性も高く、脱出が困難となる。



### ❗ アンダーパスは危険

道路や線路の下をくぐるアンダーパスや地下道は、洪水の際、真っ先に浸水する。場所を把握し、迂回路を想定しておく。



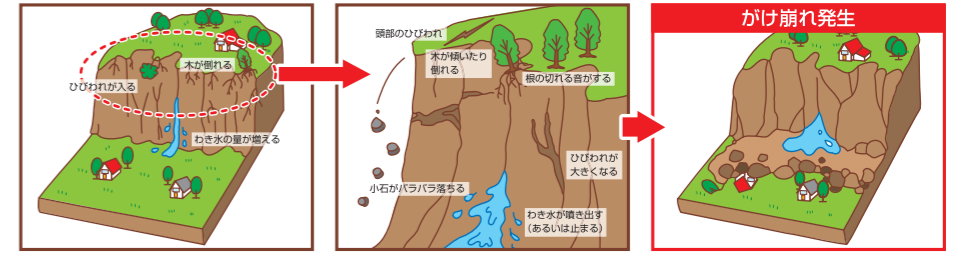
(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)

# 土砂災害について

## 土砂災害の種類

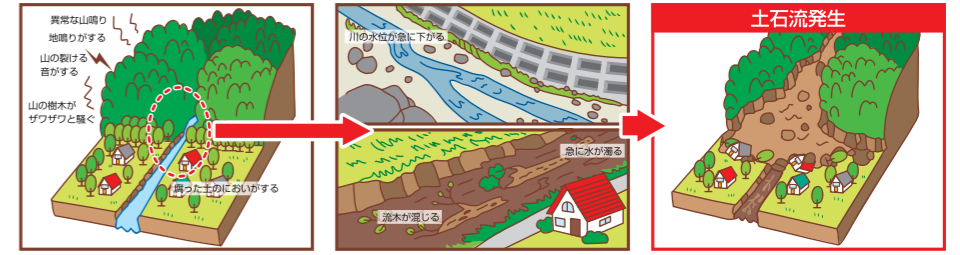
### がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



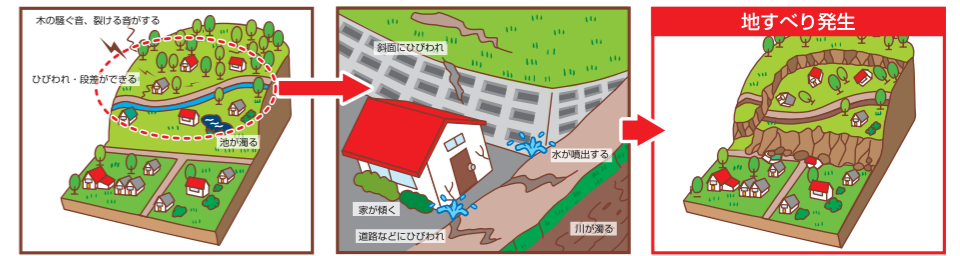
### 土石流

山腹・谷底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを破壊させてしまいます。



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土壌量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

## 土砂災害の警戒区域

土砂災害防止法に基づき、都道府県は調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

土砂災害 特別警戒区域 (レッドゾーン)	建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域
土砂災害 警戒区域 (イエローゾーン)	住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがある区域

## 避難行動のポイント

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。上記の前兆現象は、経験則として土砂災害発生の前に関与するものとして知られていますが、特に警戒区域内においては避難の猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。

- 1 土砂災害警戒区域内、また指定が無くとも「谷の出口」や「がけの下」からは、いち早く退避する。
- 2 指定避難所までの移動が困難な際は、近隣の堅牢な建物の高層階へ避難する。
- 3 外出にも危険が伴う状況で、やむなく自宅に留まる場合は、2階以上の出来るだけ山側から離れた部屋に移動する。



# 地震対策について

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

**地震発生**

**とにかく自分の身を守ろう!**  
地震だ! まず身の安全  
大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、姿勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。

**2~5分**  
**しっかり火の始末で、火災防止!**  
大揺れがおさまった  
台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉めましょう。

**5~10分**  
**わが家の安全確認、確保!**  
火の始末のあと  
家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。また、避難可能な出口も確保しましょう。

**10分~半日**  
**隣近所の安否確認、助け合い!**  
外に出たあと  
家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。

**半日~3日**  
**2,3日は自分でしのぐ!**  
避難後、数日間  
地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。この間、日頃から、生活必需品(非常用品)を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。



## 屋内にいた場合

**家の中**

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 揺れがおさまったら火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要支援者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

**デパート・スーパー**

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

**劇場・ホール**

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてずに冷静な行動をとる。

**集合住宅**

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

## 屋外にいた場合

**路上**

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難する。
- 近くに空き地がないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

**車を運転中**

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要な時は、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

**海岸付近**

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

**電車などの車内**

- つり革や手すりに両手でしっかりとつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外に出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

# 火災対策について

## 初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに**119番通報**を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

### 1 早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。



### 2 早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のものを活用する。



■郡山地方広域消防組合  
https://www.shobo.koriyama.fukushima.jp  
郡山地方広域消防組合

## ◆火元別初期消火のコツ

### 油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

### 石油ストーブ

真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけると石油が飛び散って危険)。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

### 衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

### 風呂場

風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

### 電気製品

いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。

### カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけた上で消火を。

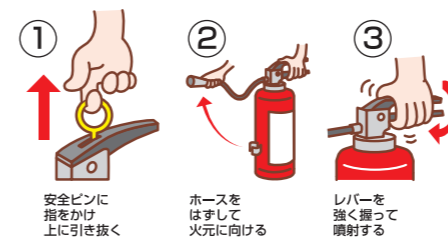
### 3 早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、消火の限界。速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。
- 一酸化炭素などの有毒ガスを含んだ煙を吸い込まないように低い姿勢でマスク・タオル等で口をふさいで逃げる。



## 消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



### ◆消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。火災にはまともに正面から立ち向かわないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。



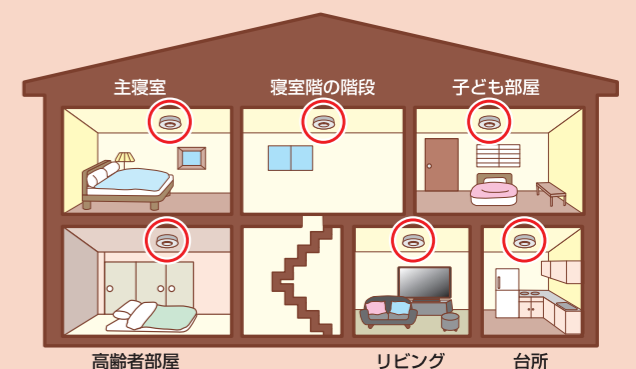
## ◆火災予防が一番!!

消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

### 住宅用火災警報器の設置場所

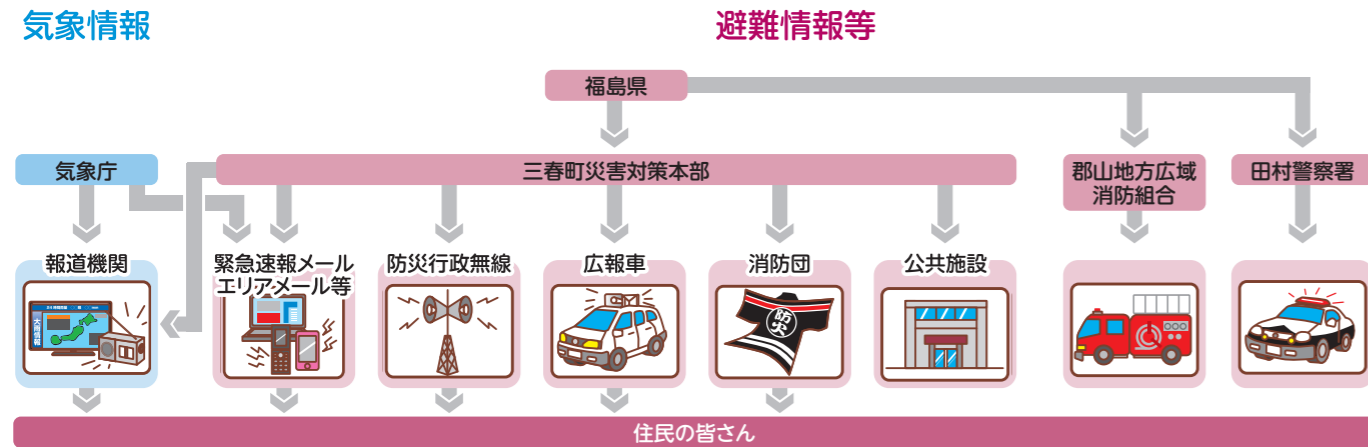
- 寝室…すべての寝室(子ども部屋や高齢者の部屋など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所…台所への設置も推奨しています。

注意:種類によって異なりますが、住宅用火災警報器の交換時期は、おおむね10年です。早めの交換をお願いします。



# i 防災情報の伝達と入手

## 防災情報の伝達



## 防災情報の入手

### 三春町の情報

- 避難指示などの発令情報
- 避難所開設情報
- 各種災害情報

■三春町ホームページ  
<https://www.town.miharu.fukushima.jp/>  
 三春町

■三春町公式LINE  
<https://www.town.miharu.fukushima.jp/soshiki/7/miharukoushikiline.html>  
 三春町公式LINE

### 水位の情報

- 雨量情報
- 水位情報
- ダム情報
- 洪水予報
- 水防警報
- ライブカメラ

■国土交通省「川の防災情報」  
<https://www.river.go.jp/portal/?region=80&contents=multi>  
 「川の防災情報」

■川の水位情報(水位情報・河川カメラ)  
<https://k.river.go.jp/?zm=5&clat=35.687088&clon=138.45645728125004&t=0&dobs=1&drv=1&dtv=1&dtmobs=1&dtmtv=1>  
 川の水位情報

■福島県河川流域総合情報システム  
[http://kaseninf.pref.fukushima.jp/web_pub/](http://kaseninf.pref.fukushima.jp/web_pub/)  
 福島県河川流域総合情報システム

防災無線では、火災、地震、大雨、洪水などの災害に関する情報・気象に関する注意報、警報の発令、災害による避難勧告など、人命に関する情報のお知らせ、その他の緊急事態に関する情報をお知らせしていますが、その他、下記の情報も合わせてご確認ください、ご自身の避難行動へご活用ください。

■本書以外のハザードマップ  
 本書に含まれない内容のハザード情報については下記に公開しています。合わせて必ずご確認ください。  
 三春町ホームページ「三春町防災マップ(web版)」  
[https://www.town.miharu.fukushima.jp/bousai/hazardmap/agree.html?lay=saigai_06](https://www.town.miharu.fukushima.jp/bousai/hazardmap/agree.html?lay=saigai_06)

### 気象の情報

- 気象情報・注意報
- 台風・洪水・土砂災害などの防災気象情報

■福島地方気象台ホームページ  
<https://www.jma-net.go.jp/fukushima/>  
 福島地方気象台

### 土砂災害の情報

- 土砂災害警戒情報

■福島県土砂災害情報システム  
<https://d-keikai.pref.fukushima.lg.jp/>  
 福島県土砂災害情報システム

### テレビ・ラジオ

テレビのニュースや天気予報だけでなく、データ放送では、気象・情報や防災情報について常時放送されています。

# 避難施設一覧

## 避難施設の種類

<b>広域指定避難所</b>	災害により被害が広範囲に及ぶことが想定されるときや地区指定避難所への避難者数が多い場合に開設されます。
<b>地区指定避難所</b>	警報が発令され、自宅への被害が予想され、自主的に避難する場合に開設される避難所です。各地区の区長さんへ連絡し避難することができます。
<b>福祉避難所</b>	生活をするうえで介助が必要な方を対象とした避難所です。福祉避難所に避難する際も、まずは広域指定避難所に避難いただいてからになります。

## 広域指定避難所・地区指定避難所・福祉避難所一覧

No.	福祉避難所	広域避難所	地区避難所	施設名	住所	掲載頁	災害の種類		
							地震	土砂災害	浸水害
1	○			三春町福祉会館	三春町字南町1	P28	○	○	○
2		○		三春町民体育館	三春町大字貝山字泉沢100	P28	○	○	○
3		○		三春交流館まほら	三春町大字大町191	P28	○	○	○
4		○		三春小学校	三春町大字大町157	P28	○		○
5		○		三春中学校	三春町大字貝山字泉沢100-4	P28・34	○	○	○
6		○		沢石会館	三春町大字実沢字榎梨215-5	P20	○	○	○
7		○		沢石小学校	三春町大字富沢字石田68	P20	○	○	○
8		○		要田交流館大平荘	三春町大字熊耳字大平1	P28・29	○	○	○
9		○		旧要田中学校交流施設	三春町大字熊耳字ハツ田213	P23	○	○	○
10		○		御木沢地区公民館	三春町大字平沢字東333-2	P21	○	○	○
11		○		御木沢小学校	三春町字樋ノ口111	P22・28	○	○	○
12		○		岩江センター	三春町大字下舞木字岩本278-1	P32	○	○	○
13		○		岩江小学校	三春町大字上舞木字大谷ツ24	P32	○	○	○
14		○		岩江中学校	三春町大字上舞木字向田53	P32	○	○	○
15		○		岩江幼稚園	三春町大字上舞木字大谷ツ3-2	P32	○	○	○
16		○		中妻地区公民館	三春町大字鷹巣字大日向13	P33	○	○	○
17		○		中妻小学校	三春町大字沼沢字神ノ上139	P33	○	○	○
18		○		中郷地区交流館	三春町大字柴原字神久保235	P34	○	○	○
19		○		中郷小学校	三春町大字柴原字神久保235	P34	○	○	○
20		○		中郷幼稚園	三春町大字柴原字神久保235	P34	○	○	○
21		○		旧桜中学校交流施設	三春町大字鷹巣字瀬山213	P33	○	○	○
22		○		町民第2体育館	三春町字日向町58	P28	○	○	○
23			○	中町公民館	三春町字中町43-1	P28	○	○	
24			○	八幡町公民館	三春町字八幡町56	P28	○	○	
25			○	沼倉団地集会所	三春町字沼之倉100	P27	○	○	○
26			○	一本松集会所	三春町字一本松34	P27	○	○	○
27			○	荒町公会堂	三春町字渋池36	P28	○		○
28			○	新町字事務所	三春町字新町155	P28	○		○
29			○	桜ヶ丘集会所	三春町桜ヶ丘4丁目3-10	P28	○	○	○
30			○	八島台集会所	三春町八島台4丁目14-5	P27	○	○	○
31			○	深田和集会所	三春町字深田和151-2	P22・28	○	○	○
32			○	青石集落センター	三春町大字青石字前田106	P20	○	○	○
33			○	沢石2区公民館	三春町大字実沢字大稲場34	P20	○	○	○
34			○	沢石3区公民館	三春町大字実沢字中ノ久保115	P20	○	○	○
35			○	沢石4区集落センター	三春町大字実沢字館腰102	P24	○	○	○
36			○	沢石5区公民館	三春町大字実沢字宮脇37	P24	○	○	○
37			○	沢石6区公民館	三春町大字富沢字宮ノ下96	P19	○	○	○
38			○	沢石7区公民館	三春町大字富沢字堰田150	P19	○	○	○



# 避難施設一覽

## 避難施設の種類

広域指定避難所	災害により被害が広範囲に及ぶことが想定されるときや地区指定避難所への避難者数が多い場合に開設されます。
地区指定避難所	警報が発令され、自宅への被害が予想され、自主的に避難する場合に開設される避難所です。各地区の区長さんへ連絡し避難することができます。
福祉避難所	生活をするうえで介助が必要な方を対象とした避難所です。福祉避難所に避難する際も、まずは広域指定避難所に避難いただいてからになります。

## 広域指定避難所・地区指定避難所・福祉避難所一覽

No.	福祉避難所	広域避難所	地区避難所	施設名	住所	掲載頁	災害の種類		
							地震	土砂災害	浸水害
39			○	沢石8区公民館	三春町大字富沢字五本木39-2	P19	○	○	○
40			○	沢石9区公民館	三春町大字富沢字石田200	P20	○	○	○
41			○	垢潜集落センター	三春町大字富沢字一ノ沢152	P20	○	○	○
42			○	南成田集会所	三春町大字南成田字草深内345	P23	○	○	○
43			○	北成田公会堂	三春町大字北成田字堂ノ入156-1	P22	○	○	○
44			○	庄司公会堂	三春町大字庄司字庄司215-1	P23	○	○	○
45			○	元町公民館	三春町大字平沢字担橋396	P27	○		○
46			○	駅前集会所	三春町大字平沢字担橋649	P27	○	○	○
47			○	平沢2区公民館	三春町大字平沢字東34	P21	○	○	○
48			○	御祭3区集会所	三春町大字御祭字松ヶ作189	P22	○	○	○
49			○	御祭4区集会所	三春町大字御祭字堀ノ内136	P22	○	○	○
50			○	七草木集会所	三春町大字七草木字館下266	P22	○	○	○
51			○	山田集会所	三春町大字山田字菖蒲作38	P26・32	○	○	○
52			○	上舞木集会所	三春町大字上舞木字戸ノ内1	P32	○	○	○
53			○	下舞木集会所	三春町大字下舞木字折ノ内124-1	P31	○	○	○
54			○	下舞木2区集会所	三春町大字下舞木字北山198-7	P31	○	○	○
55			○	下舞木南部集会所	三春町大字下舞木字石花179-1	P31	○	○	○
56			○	鷹巣集会所	三春町大字鷹巣字泉田29	P32・33	○	○	○
57			○	沼沢集会所	三春町大字沼沢字宮ノ前30	P32・33	○	○	○
58			○	斎藤集会所	三春町大字斎藤字場上田247	P38	○	○	○
59			○	西方集会所	三春町大字西方字西方前168	P33	○	○	
60			○	滝集会所	三春町大字滝字桜久保24	P34	○	○	○
61			○	柴原集会所	三春町大字柴原字刈又107-1	P34	○	○	○
62			○	込木集会所	三春町大字込木字宮ノ下330	P28・34	○	○	○
63			○	芹ヶ沢集会所	三春町大字芹ヶ沢字長作6-2	P29	○	○	○
64			○	貝山集会所	三春町大字貝山字堀ノ内222	P34	○	○	○
65			○	春沢集会所	三春町大字春沢字春沢1-23	P33	○	○	○
66			○	狐田集会所	三春町大字狐田字狐田108	P40	○	○	○
67			○	過足集会所	三春町大字過足字寺ノ前222	P40	○	○	○
68			○	根本集会所	三春町大字根本字四合内176	P40	○	○	○
69			○	樋渡集会所	三春町大字樋渡字不動滝380	P40・41	○	○	○
70			○	蛇石集会所	三春町大字蛇石字蛇石前192	P34・40	○	○	○
71			○	紙漉集会所	三春町大字過足字紙漉283-3	P40	○	○	○
72		○		三春町避難広場	三春町大字貝山字馬場58	P28・34	○	○	○
73			○	岩江地区防災コミュニティセンター	三春町大字上舞木字戸ノ内34-2	P32	○	○	
74		○		三春町防災避難施設管理棟	三春町大字貝山字泉沢100-12	P28	○	○	○
75			○	富岡町サポートセンター平沢	三春町大字平沢字四合田240-7	P27	○	○	○

# 防災関係機関一覽

## 学校関係機関

名称	電話番号	住所
三春小学校	0247-62-3101	三春町字大町157
沢石小学校	0247-62-3725	三春町大字富沢字石田68
御木沢小学校	0247-62-3368	三春町字樋ノ口111
岩江小学校	024-956-2120	三春町大字上舞木字大谷ツ24
中妻小学校	0247-62-3246	三春町大字沼沢字神ノ上139
中郷小学校	0247-62-3091	三春町大字柴原字神久保235
三春中学校	0247-62-2181	三春町大字貝山字泉沢100-4
岩江中学校	0247-62-8290	三春町大字上舞木字向田53
岩江幼稚園	0247-956-2727	三春町大字上舞木字大谷ツ3-2
中郷幼稚園	0247-62-2875	三春町大字柴原字神久保235

## ライフライン関係機関

名称	電話番号	備考
東北電力ネットワーク(株)	0120-175-366	停電緊急時など
NTT東日本-東北 福島支店	113(固定電話から) 0120-444-113(携帯から)	電話故障・通信障害など
三春町企業局	0247-62-2500	水道設備の故障など

## 行政関係機関

名称	電話番号	住所
三春町役場(代表)	0247-62-2111	三春町字大町1-2
田村消防署三春分署	0247-62-4049	三春町字亀井88
田村警察署	0247-62-2121	三春町大字熊耳字下荒井194